

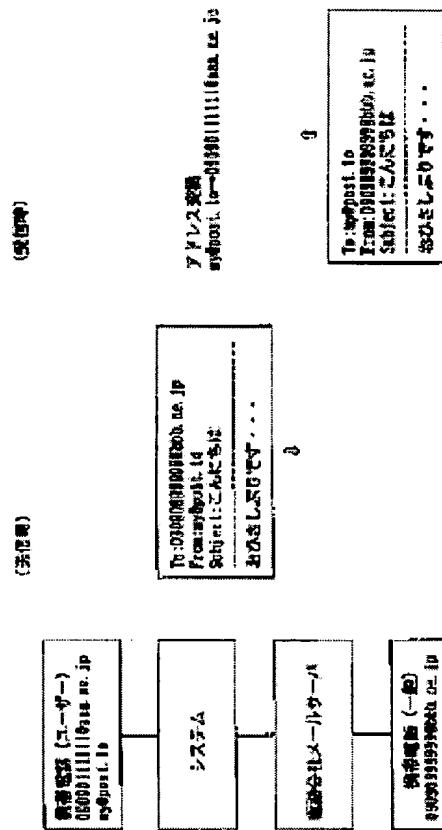
ELECTRONIC MAIL SYSTEM FOR PORTABLE TELEPHONE

Patent number: JP2000261491
Publication date: 2000-09-22
Inventor: NATSUME MITSUNORI
Applicant: HOTPOT:KK
Classification:
 - **international:** H04L12/54; H04L12/58; G06F13/00; H04Q7/38; H04L12/02
 - **european:**
Application number: JP19990060023 19990308
Priority number(s):

Abstract of JP2000261491

PROBLEM TO BE SOLVED: To make it easy to memorize a mail address without allowing a called party to know a user's own telephone number by transmitting or receiving an electronic(E) mail by a proxy mail address so that a mail address allocated to a user's portable telephone set is not attached to the E mail.

SOLUTION: In the case of transmitting an E mail, a user inputs a document by a transmission form displayed on the screen of a portable telephone. Since a system becomes a transmitter for the prepared E mail, a mail address (09090111111 aaa.ne.jp) allocated from a telephone company to a user's portable telephone is not attached to an E mail transmitter field but a proxy mail address (my post.to) is attached. Since the proxy mail address can be determined in accordance with a user's request within a range not to be overlapped with that of other users, the mail address can be easily memorized as compared with a mail address using a telephone number.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-261491

(P2000-261491A)

(43)公開日 平成12年9月22日 (2000.9.22)

(51)Int.Cl.⁷
H 04 L 12/54
12/58
G 06 F 13/00 3 5 1
H 04 Q 7/38
H 04 L 12/02

識別記号

F I
H 04 L 11/20
G 06 F 13/00
H 04 B 7/26
H 04 L 11/02

テ-マコ-ト[®] (参考)
1 0 1 B 5 B 0 8 9
3 5 1 G 5 K 0 3 0
1 0 9 M 5 K 0 6 7
D 9 A 0 0 1

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平11-60023

(22)出願日 平成11年3月8日 (1999.3.8)

(71)出願人 599031364

株式会社ホットポット
大阪府大阪市港区弁天1丁目2番1-1100
号

(72)発明者 夏目 三法

大阪府大阪市西区西本町2-4-10 浪華
ビル202 株式会社ホットポット内

(74)代理人 100072213

弁理士 辻本 一義

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 携帯電話用電子メールシステム

(57)【要約】

【目的】 携帯電話で電子メールを送信又は受信する場合に、相手に電話番号が知られることがなく、また、メールアドレスを覚えやすいものとすることが可能な携帯電話用電子メールシステムを提供すること。

【構成】 この発明の携帯電話用電子メールシステムは、携帯電話で電子メールを利用するためのシステムであって、ユーザーが携帯電話でアクセスし、代理メールアドレスで電子メールを送信又は受信することにより、ユーザーの携帯電話に割り当てられたメールアドレスが電子メールに付されないようにしている。

(注記欄)

To:10000000000000000000000000000000@ip
From:00000000000000000000000000000000@ip
Subject:こんにちは
おひさしひります。.

(注記欄)

To:00000000000000000000000000000000@ip
From:00000000000000000000000000000000@ip
Subject:こんにちは
おひさしひります。.

携帯電話 (ユーザー)
00000000000000000000000000000000@ip

システム

電話会社メールサーバ

携帯電話 (-側)
00000000000000000000000000000000@ip

【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話で電子メールを利用するためのシステムであって、ユーザーが携帯電話でアクセスし、代理メールアドレスで電子メールを送信又は受信することにより、ユーザーの携帯電話に割り当てられたメールアドレスが電子メールに付されないようにしたことを特徴とする携帯電話用電子メールシステム。

【請求項2】 ユーザーのプロフィールを記憶し、ユーザーの許可によりこのプロフィールを他のユーザーに開示できるようにした請求項1記載の携帯電話用電子メールシステム。

【請求項3】 ユーザーが伝言の投稿及び読み出しを行える伝言板機能を備えた請求項1又は2記載の携帯電話用電子メールシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、携帯電話で電子メールを利用するためのシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、携帯電話で電子メールを利用する場合には、電話会社から携帯電話に割り当てられた電子メールアドレスを用いて、電子メールの送信及び受信を行っていた。

【0003】前記携帯電話に割り当てられたメールアドレスは、「09090123456@abc.ne.jp」（「09090123456」は電話番号）のように、アカウント名に電話番号が使用されている。

【0004】従って、電子メールを送信する場合、ヘッダーの送信者フィールド (From:) には、前記メールアドレスが付される。また、電子メールを受信する場合には、相手に前記メールアドレスを知らせる必要がある。

【0005】このため、携帯電話で電子メールを送信又は受信する場合には、相手に電話番号が知られてしまうという問題があった。しかも、前記メールアドレスは非常に覚えにくかった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】そこで、この発明は、携帯電話で電子メールを送信又は受信する場合に、相手に電話番号が知られることがなく、また、メールアドレスを覚えやすいものとすることが可能な携帯電話用電子メールシステムを提供することを課題とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するため、この発明は次のような技術的手段を講じている。

【0008】この発明の携帯電話用電子メールシステムは、携帯電話で電子メールを利用するためのシステムであって、ユーザーが携帯電話でアクセスし、代理メールアドレスで電子メールを送信又は受信することにより、ユーザーの携帯電話に割り当てられたメールアドレスが

電子メールに付されないようにしている。

【0009】ユーザーのプロフィールを記憶し、ユーザーの許可によりこのプロフィールを他のユーザーに開示できるようにしてもよい。

【0010】さらに、ユーザーが伝言の投稿及び読み出しを行える伝言板機能を備えるようにすることもできる。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施形態を図面を参照して説明する。

【0012】この発明の携帯電話用電子メールシステムは、携帯電話で電子メールを利用するためのシステムであって、ユーザーが携帯電話でアクセスし、代理メールアドレスで電子メールを送信又は受信することにより、ユーザーの携帯電話に割り当てられたメールアドレスが電子メールに付されないようにしたものである。

【0013】このシステムは、図1に示すように、ユーザー（システムの利用者）と電話会社のメールサーバとの間に介在する。このシステムには、電子メール送受信機能、メールアドレス変換機能、ユーザー情報のデータベースが備えられている。

【0014】なお、この実施形態では、システムをインターネットに接続したものとしているが、インターネットに接続しないローカルネットワークの一部として構成してもよい。

【0015】ユーザーは、複数行の文章又は画像が表示可能な液晶等の画面を備えた携帯電話でシステムにアクセスすることにより、電子メールの作成・送信・受信、自己のユーザー情報の登録・変更等を行えるようになっている。

【0016】ユーザーが電子メールを送信する場合は、携帯電話の画面に表示されるメール送信フォームで文章を入力する。作成された電子メールは、システムが送信者となるので、電子メールの送信者フィールドには電話会社からユーザーの携帯電話に割り当てられたメールアドレス (09090111111@aaa.ne.jp) は付されず、代理メールアドレス (my@post.to) が付される。

【0017】代理メールアドレスは各ユーザーに付与されるもので、ユーザーの希望により、他のユーザーと重複しない範囲で決定することができるので、電話番号を使用したメールアドレスよりも覚え易くすることができる。

【0018】ユーザーが電子メールを受信する場合、送信側となる相手は、電子メールの宛て先を、ユーザーの代理メールアドレスとすることができます。相手が代理メールアドレスを宛て先として電子メールを送信した場合、システムにより代理メールアドレスが前記携帯電話に割り当てられたメールアドレスに変換され、ユーザーの携帯電話に転送される。

【0019】システムは、電子メールの題名・送信者等によって転送を行わないように設定したり、転送先を追加したりできるものとしてもよい。さらに、システムがPOPメールポックスを備えたものとし、代理メールアドレス宛の電子メールを保存するようになれば、インターネットを介してパソコン等のメールソフトで電子メールを読み出せるようになることも可能である。

【0020】なお、ユーザーの携帯電話の電話会社が提供する電子メールサービスが、インターネット上の電子メールサービスでない場合、前記携帯電話に割り当てられたメールアドレスは、前述のようなインターネットの電子メールの形式とは異なる独自の形式となる。この場合、インターネットに接続されたパソコンや他の電話会社の携帯電話等と電子メールをやりとりすることは、本来はできなかったが、代理メールアドレスを利用するにより、このシステムを経由して電子メールをやりとりすることが可能となる。

【0021】このシステムは、さらに電子名刺交換機能及び伝言板機能を備えたものとすることができます。電子名刺交換機能は、ユーザー間で互いのプロフィールを、携帯電話の画面に表示される電子名刺として開示できるようにしたもので、電子名刺には、ユーザーの性別、代理メールアドレス、氏名、電話番号、自己紹介文、伝言板で使用するニックネーム等が記載される。ユーザーは、このシステムのユーザー情報の登録・変更機能により、自分のプロフィールを変更することができる。

【0022】伝言板機能は、多数のカテゴリからなる伝言板に、各ユーザーがニックネームと代理メールアドレスで適宜の内容の伝言を投稿し、そして投稿された伝言を読み出すことができるようになっている。この伝言板機能により、電子メールの一対一のコミュニケーションだけでなく、不特定多数のユーザー間の交流が可能となる。

【0023】ニックネームは他のユーザーと重複しない範囲でユーザーが決定することができる。また、伝言板で使用する代理メールアドレスは、前述のような形式でもよいが、この実施形態では、「00031」のようなシステム側で各ユーザーに割り当てた、数桁の数字からなるID形式としている。

【0024】伝言板機能を備える場合は、代理メールアドレスや投稿時刻、伝言中の語句等による検索ができるようになることが望ましい。

【0025】伝言の投稿者に電子メールを送信したい場合には、携帯電話の画面に表示されるメール送信フォームを利用できるようになっている。前記メール送信フォームでは、宛て先にニックネームと代理メールアドレスを使用する。

【0026】図2は、このシステムが行う処理の流れ図、図3は、電子名刺交換の際にユーザーの携帯電話の画面に表示される内容を示すものである。このシステム

は、まず、ユーザーの携帯電話からのアクセスがあると、携帯電話から送信されるユーザー情報を取得し、ユーザー情報が格納されているデータベースにアクセスする。

【0027】次に、他のユーザーから電子名刺交換の依頼が来ている場合には、図3のように、ユーザーにこれに応じるか問い合わせ(a)、応じる場合には、相手の電子名刺を表示すると共に(b)、ユーザーの電子名刺が、相手がシステムにアクセスしたときにその携帯電話の画面に表示されるようになる。

【0028】また、ユーザーが他のユーザーに電子名刺交換の依頼をしていて(c)、かつこれに対する前記他のユーザーからの許可があった場合には、前記他のユーザーの電子名刺を表示する。

【0029】そして、メイン画面を表示し、伝言板、ユーザー情報の登録・更新、及びメール送信のいずれに進むかをユーザーに選択させる。

【0030】図4は、ユーザーが伝言板を選択した場合に表示される画面を示したものである。伝言板では、ユーザーに、まず「友達募集・出会い」等のカテゴリを選択させ(a)、続いて地域を選択させる(b)。そして、伝言の題名一覧を表示し(c)、適宜の伝言を選択させ、伝言の内容を表示する(d)。伝言には、投稿者のニックネームとID形式の代理メールアドレスが付されている。

【0031】伝言の相手にメールを送信する場合は、(d)の画面で「メール送信」を選択する。すると、メール送信フォームが表示され(e)、これにユーザーが文章を入力すると、システムが電子メールを生成し、送信を行う。メール送信フォームでの宛て先はニックネームと代理メールアドレスとなっているが、生成される電子メールの宛て先フィールドには、相手ユーザーの前記携帯電話に割り当てられたメールアドレスが付される。

【0032】このシステムを利用すると、電子メールを送受信する際に、携帯電話に割り当てられたメールアドレスが相手に知られないようにすることができるので、気軽に電子メールのやりとりを行うことが可能である。また、電子名刺交換を行うことにより、安全にユーザー同志の出会いのきっかけ作りができ、しかも、名前、電話番号等のプロフィールを互いに知ることができるので、信頼して電子メールのやりとりを行うことができ、交流を深めることができる。

【0033】伝言を投稿する場合には、前記題名一覧の画面(c)から「投稿」を選択する。すると、図5のような伝言投稿フォームが表示される。伝言投稿フォームでは、電子名刺交換を許可するか否か、ID(代理メールアドレス)によるメール交換を許可するか否かのチェックボックスが表示されるようになっており、伝言を見た相手からの電子名刺交換及び代理メールアドレスでのメール交換に応じるか否かを指定することができる。

【0034】

【発明の効果】この発明の携帯電話用電子メールシステムは、上述のような構成を有しており、携帯電話で電子メールを送信又は受信する場合に、相手に電話番号が知られることがなく、しかも、メールアドレスを覚えやすいものとすることが可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施形態の携帯電話用電子メールシステムの概略を示す説明図。

【図2】この発明の実施形態の携帯電話用電子メール

システムが行う処理を示す流れ図。

【図3】この発明の実施形態の携帯電話用電子メールシステムで、電子名刺交換の際に携帯電話に表示される内容を示す説明図。

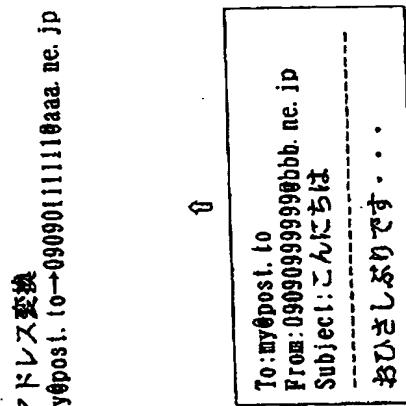
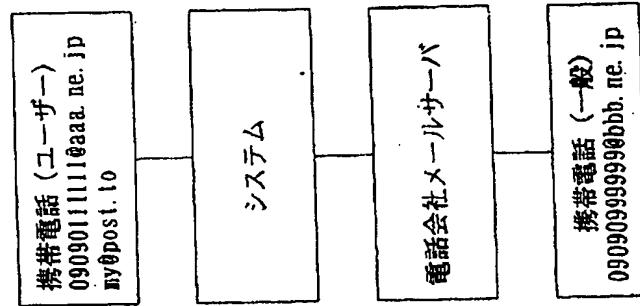
【図4】この発明の実施形態の携帯電話用電子メールシステムで、伝言板機能を使用する際に携帯電話に表示される内容を示す説明図。

【図5】この発明の実施形態の携帯電話用電子メールシステムで、伝言の投稿を行う際に携帯電話に表示される内容を示す説明図。

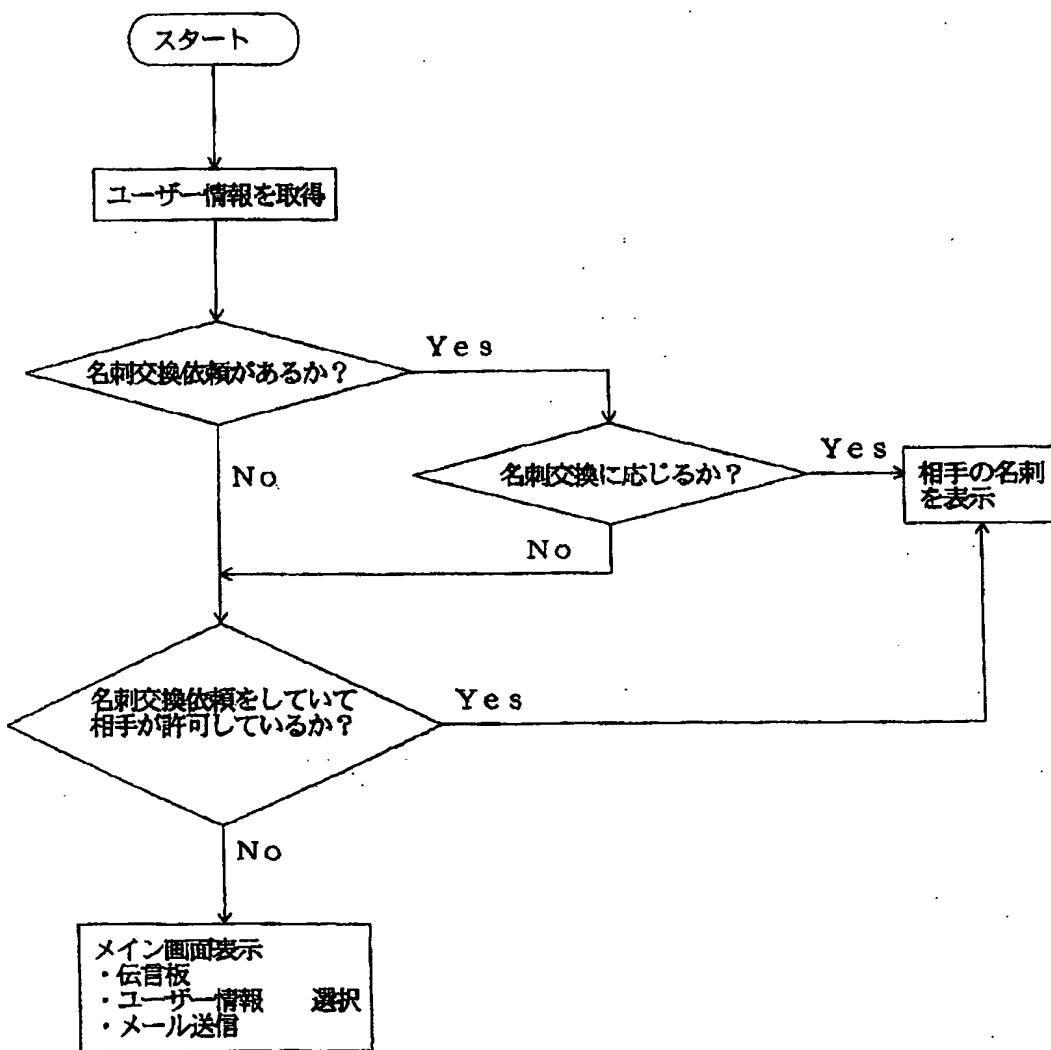
【図1】

(受信時)

(送信時)



【図2】



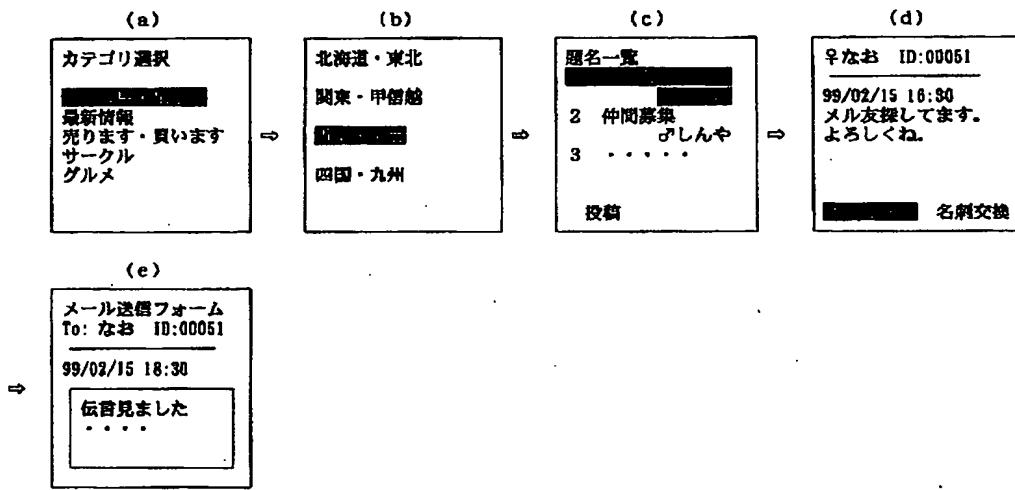
【図5】

伝言投稿フォーム	
99/02/15 18:30	
.....	
<input type="checkbox"/>	電子名刺交換を許可
<input type="checkbox"/>	IDによるメール交換を許可

【図3】

(a)	(b)	(c)
お知らせ	おたつや ID:00031	電子名刺交換
99/02/15 16:30	長谷川 達也	なお (ID:00051) さん
たつや (ID:00031) さ	生年月日 : :	に名刺交換をお願いし
んから名刺交換のお願	電話 号 :	ます。
いが来ています。	学生です。よろしく。	よろしいですか？
応じますか？	YES / NO	YES / NO

【図4】



フロントページの続き

F ターム(参考) 5B089 GA11 GA25 GB04 HA10 JA18
JA31 JB22 KA01 KA04 KA17
KB06 KC57 LB04 LB14
5K030 HA05 HC09 HD09 JT01 JT09
LD16
5K067 AA34 BB04 BB21 DD13 DD17
DD51 EE02 FF07
9A001 CC05 CC07 JJ14 JJ15